

新学部の構想を通して学ぶアイデアの伝え方

坂本 規孝（愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 特定研究員）

講師略歴

2006年4月、学校法人立命館入職。立命館大学国際関係学部事務室、立命館アジア太平洋大学アドミッションズ・オフィス（国際）、大阪いばらきキャンパス開設準備課、グローバル教養学部設置準備事務室、秘書課等で勤務。2023年5月から現職。大学事務職員として異なる部門を渡り歩く中で、自分の職務経験を新しい職場で活かすにはどうすれば良いかと大いに悩んだ経験を持つ。修士（教育学）。京都芸術大学大学院学際デザイン研究領域在籍（通信制、M2）。

プログラム概要

大学事務職員の業務は、自分一人で完結することはありません。たとえ自分に任せられた仕事であっても、任せた人が承認しなければ、業務を完遂したことにはなりません。また、たとえ満足のいくプログラムを作っても、参加者がいなければ意味がありません。業務には相手がいて、その相手とのつながりの中で進めることが求められます。そこで、自分だけで完結しようとするのではなく、自分の業務やアイデアを相手に伝えてつなぐことが大切になります。

このプログラムでは、新しい学部を構想するという業務を例として扱います。珍しい業務ですが、学部等の設置や教務部門での経験・知識は不問です。自分の業務を相手につなぐとはどういうことなのかを学び、複数の個人ワークとグループワークを通して実践します。職場で役立つヒントが得られるよう、積極的な参加を期待しています。

準備物・事前課題

- ・新設する学部アイデアとして、学部名称と特徴を考えてきてください。
- ・当日までに事前に配信する動画を見てください。URLは後日お知らせします。

主な受講対象者

- ・30歳程度までの事務職員
 - ・担当業務の幅を広げたい事務職員
 - ・アイデアを今よりもうまく他者に伝えたい事務職員
- ※学部等の設置や教務部門での経験や知識は不問です。

到達目標

1. 相手とのつながりを意識して、自分の業務を他者に伝えることができる。
 2. 自分のアイデアと他部課の業務とを関連付けることができる。
 3. 他者と協力・調整しながら、アイデアを具体化できる。
- ※学部等の設置認可申請の実務に関するプログラムではありません。